にしお 市議会だより

～あなたの気づきが明日のNISHIOをつくる～

2026
11月号
No.164

〔編集・発行〕
西尾市議会
〒445-8501
愛知県西尾市寄住町下田22
TEL:0563-65-2182(直通)



9月定例会を8月28日から9月18日まで22日間の会期で開催しました。
8月31日、9月1日、2日には、21人の議員が市政について一般質問をしました。

CONTENTS

一般質問…… 2～12
議会活動…… 12
決算認定…… 13
審議結果……14
編集室……15
お知らせ……16

にしお市議会だよりは
西尾市議会のホームページ
でも見ることができます。

一般質問 Q&A

みらい創政会
磯部　雅弘 議員

詳細はスマホでチェック!



令和12年供用開始予定の新たな広域ごみ処理施設における発電

Q 新施設で見込まれる発電量はどの程度か。
A 年間約４万６千 MWh を見込んでいる。

Q 公共施設への供給可能性は。
A クリーンセンター敷地の施設内で約８千MWh、隣接するホワイトウェイブ21へ約２千MWhを予定しており、残る余剰電力で本市の全ての公共施設の電力を賄うことも可能である。

Q 再生可能エネルギーの調達を進めて、どの程度の脱炭素効果を見込んでいるか。
A 全ての電力調達を再生可能エネルギーに切り替えることで、電気使用に由来する排出量を実質ゼロとすることができる。これにより、温室効果ガス排出量については、2030 年度に、2013 年度比で 50%削減する目標の達成を見込むことが可能となる。

Q これからの電力調達方針についての考えは。
A 電力の調達は、本市の財政運営と市民サービスの安定的な提供に欠かせない重要な基盤である。新たな広域ごみ処理施設で発電される電力は、脱炭素化や財務健全化に資するなど、多くのメリットが期待できる。こうした多面的なメリットを生かし、本市にふさわしい電力調達の在り方を検討し、持続可能なまちづくりにつなげていく。



減税日本と無所属グループ
ささき　えみ 議員

詳細はスマホでチェック!



５歳児健診の導入で特性の早期把握を

Q ５歳児健診のメリットについてどのように考えるか。
A 軽度発達障害などの発達上の課題を早期に発見し、個々の特性に合わせた適切な支援につなげることができる。



Q ５歳児健診の受診を促すためには、保護者の理解が重要であると考えるがどうか。
A 発達支援の必要性や、小学校入学時の支援をスムーズに行うことのメリット等を理解してもらい、受診につなげたい。

給食費取扱いの管理体制強化を

Q 給食費を市へ納入する際の報告は金額だけか。
A 給食費納入明細書に金額のほかに納入者数と未納者数が記載される。また金融機関から納入金額が記載された納入済通知が届く。

Q 着服したお金を返すまでの期間の利子を払わせるべきだと考えるがどうか。
A 利子に相当する遅延損害金の請求は法理論上、正当なものである。

実のある支援につながる障害者福祉に

Q 重度の方は現物給付で受けられるものが現状維持で、軽度の方は受けることができるサービスが増えている。この不公平さについてどのように考えるか。
A 不公平とは考えていないが、サービスの提供にある程度の偏りがあることも否めない。

その他の質問
・酷暑でも子どもたちが安心して過ごせる工夫を

一般質問 Q&A

みらい創政会
大須賀　竜也 議員



詳細はスマホでチェック!

消防庁舎の老朽化対策と消防職員の適正な人員体制について

Q 建て替えまたは大規模改修について、現在どのような状況にあるのか。

A 消防本部・消防署庁舎は、令和５年度から７年度の３年間で大規模改修を完了した。西分署は、11 年度の新庁舎運用開始に向け、基本設計を進めている。その他の消防庁舎は、西尾市公共施設長寿命化計画に基づき、順次、事業化を進めていく。



Q 今後も救急需要が増加すると見込まれる中、消防職員の増員や救急隊の体制強化を検討する考えはあるか。

A 市民の安心・安全を確保するため、引き続き適正な人員確保と業務の効率化に取り組む。

下水道資源循環の推進と職員の人材育成を

Q 矢作川浄化センターは県施設であるが、資源循環の取組はどのようか。

A 脱水汚泥の大部分は焼却し、焼却灰をセメント原料などに利用し、焼却時の廃熱を利用した発電も行っている。浄化した水についても、その一部を施設内で再利用するなど下水道資源の有効利用に積極的に取り組んでいる。

Q 専門性を高めたいと考える職員に対し、希望する分野での長期的な配置を可能にする仕組みや、専門的な資格・知識を人事評価に直接的に反映させる人事制度の導入について、本市の考えはどのようか。

A 専門的な資格や知識を人事評価に反映できるよう、令和８年度に人事評価の項目を見直し、９年度から新たな人事評価制度を運用する。

公明党西尾市議団
大塚　久美子 議員



詳細はスマホでチェック!

障がいのある方や支援の必要な方に寄り添う福祉行政の推進を

Q 障がいがあり常時紙おむつが必要な方に、実際の生活上の負担に着目した支援が必要ではないか。

A 知的障がいや精神障がいのみの紙おむつの支給は対象外としているが、支援を実施している自治体があるようなので、今後の参考にしていく。

災害廃棄物処理計画の実効性の確保へ

Q 発災時に速やかに仮置場を開設・運営できるよう、実際の候補地を使用した仮置場設置・運営訓練を実施する考えはないか。

A 他自治体の先進事例などを参考に検討する。

市民自らが実施する犯罪防止対策の支援を

Q 市民一人ひとりの防犯意識を高め、犯罪被害を未然に防止するため、個人向け防犯用具購入補助制度を創設する考えはないか。

A 市民の防犯意識の向上と犯罪被害の未然防止につながることが考えられるため、個人向けの防犯用具の購入支援について、制度を作っていく方向で検討を進めていきたい。



その他の質問
- 相談ニーズに対応するため、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの人員や配置時間を増やす考えはないか。

一般質問 Q&A

新しい風
渡辺　まさし 議員

詳細はスマホでチェック!



介護保険サービス及び障害福祉サービス等の利用体制の強化を

Q 申請・認定件数と受給者証交付件数の推移は。

A 過去５年間で、要介護認定の申請・認定件数は増加。障害支援区分認定の申請・認定件数は年度により変動し、障害福祉サービス・障害児通所支援の受給者証交付件数は増加している。

Q 申請から認定・受給者証交付までの平均日数は。

A 令和７年度の要介護認定は、平均35.3日で、30日以内の認定割合は35％。令和８年４から５月の障害支援区分認定は平均72日、区分認定を要する方の受給者証交付は平均84日である。

Q 障害福祉サービス等の利用開始に遅れは。

A 申請集中等で遅れた事例があった。緊急時には認定期間を約３週間短縮した事例もある。

Q 近隣市と比較して認定調査員の配置状況は。

A 介護認定調査員は平均的な配置人員に対し３名程度少なく、障害支援区分認定調査員も少ない水準にある。

Q 認定調査業務の外部委託についての考えは。

A 確実に人員を確保できる指定法人への委託化は、今後の選択肢の一つであると考える。

Q 認定業務の迅速化に向けたＩＣＴの活用は。

A 介護認定調査員支援システムについて、来年度からの導入に向けて検討している。障害支援区分についても導入自治体の事例等を調査・研究する。

Q 今後の体制強化を図る考えは。

A 調査員の増員や雇用形態の弾力化、ＩＣＴの導入、手続のデジタル化・簡略化なども含めた効果を見極めながら段階的に体制強化に取り組む。



みらい創政会
本郷　照代 議員

詳細はスマホでチェック!



空家等対策計画を機能させるために

Q 空き家バンクの成果と課題はどのようか。

A 民間市場で対応困難なニーズを補完する役割を担う。一方、掲載事業者に中堅や大手企業が少ない点や、市が求める掲載物件の意思共有不足が課題である。

Q 令和８年度に実施する市内全域の現地調査の内容はどのようか。



A 建物の有無だけでなく、潜在リスクや補修の必要性、周辺環境への影響などを多角的に把握する。敷地内のごみ、建物の傾斜や損壊状況も調査する。

Q 借地権付き空き家問題の解消に向けた官民連携案公募の目的はどのようか。

A 権利関係の複雑さから放置されるケースが多い。民間事業者のノウハウを活用し、買取りや権利調整のモデルの構築に大きな期待を寄せている。

Q 民間事業者に期待する役割は何か。

A 複雑な権利関係の整理と更地化やリフォームによる適正な市場供給である。

Q 専門機関につなぐワンストップ型の相談体制の構築はどのようか。

A 所有者の高齢化や複雑な権利関係など複合的な課題に対応するため、庁内連携や専門機関と連携した実効性ある体制の構築を進める。

Q 成果指標（ＫＰＩ）の評価・検証はどのようか。

A 危険な空き家の改善件数などを主な指標とし、定期的に評価・検証を行う。

一般質問 Q&A

みらい創政会
松井　晋一郎 議員



詳細はスマホでチェック!

漁港のしゅんせつ・整備について

Q 市内８漁港におけるしゅんせつ事業の実施状況及び今後の実施スケジュールはどのようか。

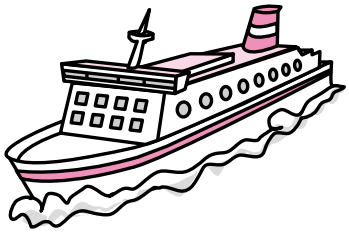
A 市内８漁港の堆積状況を把握し、漁船の安全航行と利便性確保を最優先に必要な箇所で実施している。今後の計画は、市管理の衣崎漁港を令和９年度に、佐久島漁港西港を令和 11 年度に予定している。また、県管理の２漁港について、一色漁港は毎年継続的に実施し、西幡豆漁港は堆積状況を把握した上で、県が引き続き、計画的に実施していく。

Q 佐久島漁港東港で今年度堆積土砂の調査を実施すると聞いている。進捗状況はどのようか。

A 渡船の運航に支障の恐れがあり、来年度のしゅんせつ実施を見据えた事前調査を、今年度、実施する予定である。現在、測量及び土壌調査の発注に向けた準備を進めている。

Q 漁港によっては土砂の堆積により、漁船の航行や係留に支障が出ているとの声もある。しゅんせつ箇所や実施時期の優先順位はどのような基準で決定しているのか。

A ①航路や砂地などの土砂の堆積状況や水深の確保状況、②漁協への聞き取りなどによる現場の要望や緊急性で判断している。



いのちの党西尾
山市　志保 議員



詳細はスマホでチェック!

産前産後の支援体制の強化を

Q 安城・岡崎の産前産後家事支援制度を参考に、段階的に制度を整備する考えはあるか。

A 本市においては、産前産後の切れ目ない支援体制の充実を目指し、まず家事代行サービスを実施する。本事業の実施にあたっては、利用者の生の声を聴き、サービスメニューについても的確に把握することで、さらなるサービスの充実に努めていく。



国民健康保険制度における保険者努力支援制度の課題について

Q 市の努力の実態も踏まえ、本来は使途を限定しない国庫負担金を国に要望すべきであると考えるが、市の見解はどのようか。

A 保険者努力支援制度は、保険者が実施する予防・健康づくりや医療費適正化の取組を評価し、その実績や状況に応じて国がインセンティブとして交付する制度である。しかしながら、評価項目においては、各自治体の地域の実情が十分に考慮されていない側面があると認識している。国民健康保険への国庫負担金については、全国知事会においても「令和９年度国の施策並びに予算に関する提案・要望」の中で、保険者努力支援制度の適切な評価や国庫負担割合の引上げ等について提言を取りまとめ、国へ要望しているところである。

一般質問 Q&A

公明党西尾市議団

山本　栄児 議員

詳細はスマホでチェック!



大規模災害時の人的受援体制の実効性は

Q 人的受援体制の強化・改善をどのように進めるのか。

A 職員の参集予測を見直し、各部署で受援が必要となる業務、必要人数、応援要請の方法などを整理する。本年度中に受援計画を策定し、令和９年３月末までの完成を予定している。

Q 災害はいつ発生するか分からない。令和９年度の本格的な図上訓練を待つだけでなく、本年度の研修やワークショップを活用し、応援要請の判断や必要人数の見積り、応援職員の受入れ・配置など一連の流れを実践的に確認し、そこで明らかになった課題を策定中の受援計画に反映できないか。

A 災害はいつ発生するか分からない。本年度の研修では、応援要請から受入れ、配置、管理までの一連の流れを確認する。ワークショップでは、各課の役割分担や必要となる応援の内容、要請方法などを具体的に検討する予定である。また、災害対策本部事務局の訓練では、人的支援を受け入れる訓練を実施し、受入れに係る手順や関係機関との連携についても確認する予定である。こうした機会を活用して人的受援体制の実効性を確認し、そこで明らかになった課題は、策定中の受援計画に反映していきたいと考えている。



新しい風

小林　孝幸 議員

詳細はスマホでチェック!



市民病院経営強化プランの進捗

Q 令和９年度までに常勤医師を９人増員する目標に対し、５人増にとどまる要因は。

A 全国的な医師不足、大学医局の人事動向や開業等による退職での相殺、医師本人の意思や意向の尊重による配置の難しさが要因である。

Q 市民病院固有の課題は。

A 脳神経内科医の確保が最大の課題。脳神経外科、産婦人科、小児科など医師が少なく需要が高い診療科での医師確保が困難である。

Q 医師確保に向けた新たな取組は。

A 医局訪問で地域の実情を伝え、手術支援ロボットなどの最新機器導入や電子カルテ更新で診療体制を充実させアピールする。

Q 収益改善の具体的事例は。

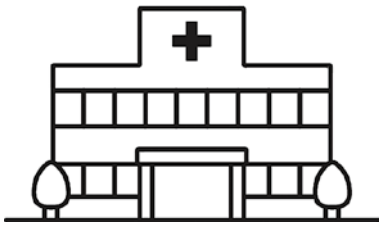
A 手術支援ロボット導入による医師確保で泌尿器科が約２億2,500万円増収、放射線治療医の２人体制化で約４千万円増収となった。

Q 給与費対医業収益比率は目標の60%未満に対し、令和７年度は73.81%と悪化している。経営強化プランの中でも最も重要な指標の一つであるが、この状況をどのように受け止めているか。

A 非常に重く受け止めている。

Q 最も危機感のある項目と最重要課題は。

A 最も危機感があるのは、給与費対医療収益比率。最重要課題は「医師の確保」であり、医局との信頼関係構築と環境整備に全力で取り組む。



一般質問 Q&A

参政党西尾
神田 たかひろ 議員

詳細はスマホでチェック!



日本語教育が必要な児童生徒の増加に伴う教育環境と支援体制は

Q 日本語教育が必要な児童生徒の推移は。

A 平成28年度の329人から令和８年度は933人となった。在籍者数に対するその割合が最も高い学校は寺津中学校の16.4％で、学年別では一色西部小学校２年生の30％である。今後も増加すると考えている。

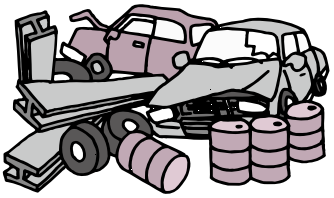
Q 今後さらに割合が高くなった場合「支援員を増員する」といった教育委員会としての一定の目安や基準はあるか。

A 現在 20 人の日本語教育指導支援員を毎年２人ずつ増員したいと考えているが、目安や基準は定めていない。

スクラップヤード・資材置場等の実態と対応

Q 市内のスクラップヤードは何カ所あるか。また相談・苦情の状況はどのようか。

A 市への届出制度等がないため全体数は把握していない。相談・苦情は延べ 12 件である。内訳は野焼きを含む悪臭５件、騒音４件、水質汚濁３件である。



Q 市民はどこへ相談すればよいか。

A 騒音や悪臭など生活環境に関する相談は環境保全課が窓口である。

Q スクラップヤードに対する法施行前に、ヤード等の所在や取扱品目などを調査する考えはあるか。

A 現時点で具体的な実態把握調査を行う予定はない。国・県の動向や他自治体の状況について情報収集に努める。

日本共産党西尾市議団
前田　修 議員

詳細はスマホでチェック!



上下水道の広域化と「ウォーターＰＰＰ」について

Q 西三河の 10 市町が、矢作川流域の上下水道をまとめて運営する「広域一体化」の検討を進めているが協議内容は。

A 協議内容としては、計画の方向性と基本計画骨子の公表を目指している。

Q ウォーターＰＰＰなど官民連携についても検討することとなっているが、本市にとって懸念される問題点は何か。

A 令和９年度以降の下水道事業の汚水管改築の交付金を受けるには、「ウォーターＰＰＰ導入が決定済み」であることが要件となった。本市においても導入に向けた検討を進めていく予定である。管理やサービスにおけるデメリットなど懸念される問題点のあることは認識している。

第10期介護保険事業計画は

Q 介護人材の確保に向けた具体策は。

A 求職者と事業所のマッチング支援、介護の仕事のイメージアップ、採用活動における資金面の支援など、効果的な支援策の具現化を策定委員会等で検討していく。

Q 地域密着型サービスのニーズの把握方法、また、ニーズが高いサービスの整備にどう取り組んでいくか。

A グループホームや看護を含む小規模多機能型居宅介護の必要性が高いことから、総合的な観点から整備方針を検討していく。



一般質問 Q&A

独立グループ志

細井　まゆみ 議員



詳細はスマホでチェック!

地域猫・保護猫活動における行政の役割について

Q ＴＮＲ活動について、何頭程度の不妊去勢手術につながっているか。

A 令和５年度が 40 件、６年度が 67 件、７年度が 108 件、８年度は７月末時点で 46 件、累計で 261 件となっている。

Q 現在活動しているボランティア団体が抱えている課題や負担についてはどのようか。

A 本年、ＴＮＲ活動を実施している７団体と意見交換会を実施した。

主な課題は、公益財団法人どうぶつ基金からのＴＮＲチケットの交付枚数に制限があること、ＴＮＲ活動に理解を示し、不妊去勢手術に協力してもらえる動物病院が少ないこと、日々の活動資金の確保である。

Q 佐久島を「地域猫モデル地区」としてＴＮＲから保護・譲渡・観光客への啓発活動を一体的に実施するモデル事業を行なわないか。

A 地域猫活動を推進していくためには、何よりもまず、地域住民の理解と合意形成が前提となる。現在島内においては、餌やりの在り方等について、島民とボランティア団体との間に認識の違いが生じている状況であり、まずはこの相互理解を深めることが最優先であると認識している。

Q 将来的な「人にも猫にもやさしい西尾市」について、単なる野良猫対策としてではない、地域政策として位置づけていく考えがあるか。

A こうした課題は、行政の力だけではなく、ボランティア団体の力や、何よりも地域住民の理解と協力が不可欠である。

人と動物が共に安心して暮らせる、良好な生活環境づくりに向けて、関係機関や地域住民と連携し、一体となって取り組んでいくことが大切であると考えている。



新しい風

牧　一心 議員



詳細はスマホでチェック!

公共施設再配置における全体計画と地区別実行計画の在り方は

Q 西尾市公共施設等総合管理計画は、公共施設の保有総量を 15%（約８万２千㎡）削減する目標を掲げている。現時点の進捗状況は。

A 令和７年度末の公共施設の延べ床面積は 54 万 2,070.05㎡で、計画策定時の 54 万 399.93㎡に対し 1,670.12㎡増、進捗率はマイナス 2.0% である。

Q 総量削減目標を地区別・期間別に配分した実行計画は策定しているか。

A 削減目標を地区や期間に配分した実行計画は策定していない。

北浜川周辺における整備方針は

Q 市街地中心部の県管理区間では、地域ボランティアが 28 年間、独自に年１回の除草を続けている。県の支援は活動人数に応じた僅かな報奨金にとどまる。この実態について市の認識は。

A 河川の環境維持は、景観や防災の観点からも重要である。地域住民の負担が過度にならないよう、必要に応じて県に実態を伝え、より手厚い支援や適切な維持管理を働きかけていく。

Q 北浜川沿いのコミュニティ道路周辺の区間を、立ち止まり過ごせる空間として整備していく考えはあるか。

A みどり川ワーキングの提言を踏まえ、三條橋から四條橋の区間で、地域の声を聞きながら整備内容の調査・検討を進めていく。



一般質問 Q&A

みらい創政会
藤田　秀徳 議員

詳細はスマホでチェック!



ごみの分別不良について

Q 分別不良の発生件数や相談件数をどのように把握しているか。

A 統計的に把握はしていないが、一部のごみステーションでは、分別不良やルール違反、粗大ごみや処理困難物が不法投棄されているなどの状況は、町内会等から寄せられる意見から把握している。

Q ルールが守られず、ステーション内に残されたごみの対応を町内会が担っている現状を、どのように認識しているか。

A 大きな課題であると認識している。定期的な注意喚起、啓発等を行っているが、一部ではあるがルール違反はなくなっていない。引き続き市と町内会で連携しながら、ごみ出しマナー向上のための周知に努める。

Q 令和８年度から分別方法が一部変更されたこともあり、特に転入者や外国人住民、高齢者などへの周知が重要。分別不良を減らすため、どのような方法で啓発や周知を進めているか。

A 主に３つの取組により、分別方法を啓発、周知している。１つ目は、デジタルを活用した取組。２つ目は、紙媒体を活用した取組。３つ目は、町内会や各種団体、学校や企業等からの要望に応じて市職員が直接出向き、ごみの減量や分別方法を伝える「出前講座」を実施している。



減税日本と無所属グループ
石川　まゆみ 議員

詳細はスマホでチェック!



学校給食の提供方式に係る保護者説明会を終えて

Q 平坂中学校の給食室は２年前にできたばかりであり、平坂中学校のような新しい施設は、有効に活用すべきと思うがどのように考えるか。

A 仮にセンター方式に移行する場合、一部の新しい施設においては、例えばセンター方式への移行時期を遅らせたり、親子方式として活用するなど、状況に応じた最適な活用方法について、検討していきたいと考えている。



都市公園の利用基準と条例の適正な運用について

Q 令和８年５月27日の矢作川西尾緑地の利用許可を不許可にした場合の本市のリスクは。

A 申請された内容が条例上の要件を満たしているにもかかわらず、特定の宗教団体であることや、礼拝行為であることを理由に一律で利用を不許可とすることは、法に基づく公正な行政運営を著しく損なうものと考えている。本市としては、どのような団体からの申請であっても、条例の規定に基づき、公平かつ中立的な立場で厳正に審査していく。

Q 宗教活動は、公園本来の目的である憩いの場としての利用には当たらないと判断している自治体も複数あるが、本市としての見解は。

A 宗教活動は多岐にわたるため一律に判断せず、一般の公園利用に支障を及ぼすおそれがないと認める場合に限り、許可している。特定の宗教や思想、国籍や出自にかかわらず、条例の規定に基づき、公平かつ中立的な立場で審査し、慎重に判断する。

その他の質問
・恵比寿海水浴場の適正な維持管理について

一般質問 Q&A

みらい創政会
青山　繁 議員

詳細はスマホでチェック!



市民に寄り添った墓地行政の推進を

Q 本市は、今後とも市営の墓地は不要であり、設置する必要はないと考えているのか。

A 現在のところ、市営墓地の新設は考えていないが、20年後、30年後の長期的な視点から、社会情勢の変化、市民ニーズの変化等を踏まえ、墓地行政の在り方を必要に応じ情報収集、分析を行う。

Q 少子高齢化、核家族化などにより、お墓に関するニーズも多様化している。市民に寄り添った墓地行政を推進するため、お墓に関する市民ニーズ調査を行い、多様化している市民ニーズをしっかりと酌み取るべきと考えるがどうか。

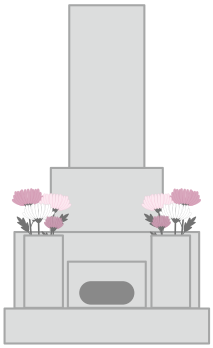
A 市民ニーズの重要性は認識しているが、市営墓地の新設は、市の施策や財政状況など総合的な判断が必要である。

Q 鶴城丘高校北側の浄念塚墓地には、所有者不明の墓碑が577基ある。このまま放置しておくか、あるいは必要な手続きを行った上、市が責任を持って弔い合祀し、丁重に供養するか、選択肢はどちらかしかないと考えるがどうか。

A 合祀、供養を行うには、所有者の特定などが必要で、相当の労力と費用を要することが想定される。引き続き、現在の管理方法による対応を取っていく。

Q 専門家の意見を聞きながら、みんなで知恵を出し合い、浄念塚墓地は将来どうあるべきか、長期的な計画を策定すべきと思うがどうか。

A 現在のところ、長期計画を策定する予定はない。



新しい風
中根　志信 議員

詳細はスマホでチェック!



業務量調査の成果とDX・生成ＡＩ等の利活用及び開庁時間の見直しは

Q 業務量調査の結果をどう評価しているか。

A 今後の本市の組織経営の基盤を強固にする、極めて大きな成果であると認識している。

Q 業務量調査の結果を踏まえて実施した取組の成果は。

A 改革途上であるが、約１万千時間の業務時間を削減し、６人工相当の効果を上げた。

Q 開庁時間の短縮による職員の時間外勤務の削減状況はどのようか。

A ４月から６月までに1,334時間の削減、平均単価で約373万円の減額となった。

Q 今後のＤＸ・生成ＡＩの利活用の目標は。

A 市民の問合せに応える「ＡＩコンシェルジュ」の実現などを順次進めていく。

Q 閉庁後の退庁時の出口について改善を検討しないか。

A 現在、出口は西玄関のみで、市民から駐車場に近い玄関から出られるようにとの要望があり、正面玄関や南玄関からも退庁できるよう９月補正に予算計上し、年度内でなるべく早く対応を進めたい。



「副首都」指定に愛知県・名古屋市が名乗りを挙げた中、本市の考えは

Q 「副首都」に指定された場合の本市の将来の立ち位置や戦略を、市長に伺う。

A 自動車産業の集積や抹茶の生産はオンリーワンぐらいの強みがある。県が見る西尾市と、本市が見る西尾市は違ってくると思うので、県任せにせず、できる限りの連携を図り、本市のメリットの部分に効果が及ぶような形に向けて精一杯、知恵を絞っていきたい。

一般質問 Q&A

新しい風
福西 あきひと 議員



詳細はスマホでチェック!

農業用排水路を守り、地域の防災力を高めるために

Q 農業用排水路が果たしている防災面の役割について市の認識はどのようか。

A 農業用排水路は近年の急速な都市化、宅地化に伴い、非農用地を含めた排水において重要な役割を果たしているものと認識しており、今後も防災面における重要性、公共性はさらに高まっていくものと考えている。

Q 地域全体に利益をもたらしている認識を踏まえ、維持管理費用の負担の在り方について、市の考えはどのようか。

A 農地が減少し、主に宅地等の雨水排水先として利用されている農業用排水路については、市全体の防災に資する状況であることを踏まえ、かかる維持管理費用のうち応分の負担をしたいと考えている。



Q 市街化区域内の農業用排水路は、管理移管を検討するべきと考えるが市の考えは。

A 市街化区域内の土地改良区所有の排水路は大変重要な役割を果たしていると認識しており、市で雨水排水施設として移管を受け、維持管理を行っていく方針で協議、検討をしている。

Q 農業・農村振興対策協議会の取りまとめ時期、土地改良区への具体的な方針提示の目標時期はいつ頃を予定しているか。

A 負担額や負担割合といった金額算定など、期間を要する事項が引き続き検討となっているが、今年度中を方針提示の目標時期と想定している。

その他の質問
・農作物の盗難被害防止対策と農家への支援制度について

独立グループ志
杉浦　こうき 議員



詳細はスマホでチェック!

持続可能な財政運営について

Q 今後の大規模なソフト事業に当たり、名鉄蒲郡線への支援はどれほど増額となるか。

A 運行支援負担金は総額約 43 億円、運行期間 15 年の平均で年約 2 億 8,600 万円。令和 8 年度までの負担金約 1 億 5 千万円と比べ、約 1 億 3,600 万円増額。

Q 今後の大規模なハード事業に当たり、建設時のイニシャルコストの多くを起債、つまり借金の形で賄うようだが、借りた後に利息を含めて返す元利金償還はどのようになるか。

A 広域ごみ処理施設整備は、起債額 150 億円ほど、元利金償還の総額 200 億円ほどと見込む。市民病院建替は、具体的な計画が定まっておらず、回答段階にない。

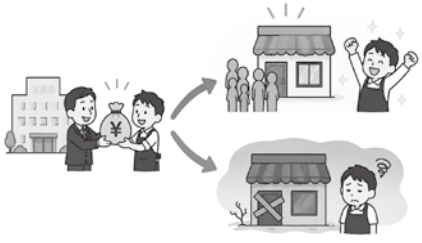
地域経済の持続的発展に向けた事業者支援を

Q 事業者支援や中心市街地活性化を目的とした補助金の交付状況はどのようか。

A 未来共創補助金は 2 年間で 31 件、1,137 万 2 千円。空き店舗等活用事業補助金は令和 4 年度から 7 年度までの累計で 23 件、5,211 万 6 千円を交付。

Q 金融機関が融資先から決算書類の提出を求め状況把握に努めているように、支援先に対するモニタリング機能を高めるべきではないか。

A その重要性は認識するも、未来共創拠点ニコラボは開設 3 年目で延べ 1,400 件以上の相談に対応しており、全てのモニタリングは実務的に難しい。



一般質問 Q&A

減税日本と無所属グループ
くろの　拓海 議員



詳細はスマホでチェック!

道の駅にしお岡ノ山について

Q チラシの置き方について、指定管理者と相談し、レイアウトの変更を行わないか。

A チラシの置き方については、指定管理者と相談し、レイアウト変更を含めて検討する。



現在の状況



Q コロナ禍以降、施設利用時間を 20 時から 18 時までに短縮している。施設利用時間を短縮したままの状態としている理由はどのようか。

A 夜間の施設利用者が見込めないことから、現在も施設利用時間を短縮した状態での運用が継続されている。

国民健康保険税の収納率向上について

Q 国民健康保険税の前納制度について、早急に導入しないか。

A 近隣の西三河８市において導入を検討しているところはないため、本市の滞納状況や先進導入自治体の効果等を検証しながら導入について検討していく。

Q 前納制度を導入する上で、懸念されることはどのようか。

A 国民健康保険資格を喪失した場合、納め過ぎた保険税の還付が発生する。還付手続きや口座確認などの事務負担が増加すると想定する。

議会活動

令和８年熊本地震に対する見舞金を贈りました

西尾市議会では、７月28 日に発生した「令和８年熊本地震」で被災された方々に対し、本市議会議員一同より見舞金を贈りました。

■見舞金額　30 万円
（議員１人当たり１万円×30 人）
■送 り 先　九州市議会議長会
（指定の災害義援金口座に振込）
■振 込 日　令和８年９月１日



小栗地区津波避難タワー竣工式



８月27 日に市内７カ所目となる小栗地区津波避難タワーの竣工式がありました。タワーの愛称は愛称看板募集事業で最優秀賞を受賞した「小栗シャインタワー」に決まりました。

決算認定

令和7年度決算を認定

令和７年度一般会計・特別会計・企業会計の歳入歳出予算の執行実績である決算を、９月４日から9日の４日間にわたり、予算決算委員会各分科会にて審査しました。

慎重審査の結果、全ての会計が適法かつ正当に行われたものであると認定しましたが、ここでは、審査した内容の一部を紹介します。

企画総務分科会

Q 市税の不納欠損額の増減とは切り分け、徴収対策の効果をどの指標で把握・検証しているか。

A 現年度分収納率と滞納繰越分収納率を成果の指標としている。令和7年度の市税全体の収納率は99.0%で、県内38市中9番目と高い水準にある。今後も納税コールセンターによる納税勧奨を行い、収納率の維持向上を図る。滞納繰越分は収納率30%を目標に取り組む。

Q 室場っ子防災フェスの詳細は。

A 消防庁の自主防災組織活性化推進事業の採択を受け、若い世代の防災訓練への参加促進を目的に、室場小学校区をモデル地区として実施した体験型防災訓練。自主防災会やPTA、消防団、中学生ボランティア等が協働し、初期消火や救助、災害用トイレ、家庭での備蓄等、ゲームやクイズを取り入れた11の体験型訓練を防災ミッションとして実施した。



厚生環境分科会

Q 産業廃棄物対策事業の検査内容、検査結果と今後の展望は。

A 跡地周辺の排水路・地下水・海域の水質、排水路土壌、地表面ガスの調査を県と連携または市単独で定期的に実施している。カドミウムや鉛等全項目で環境基準値未満であり、異常は確認されていない。有識者で構成する「西尾市産廃跡地周辺環境調査検証会議」からも生活環境への影響はないと評価されている。今後も同会議による検証を継続し、県との情報共有を密にしながら、異常を検知した際に迅速に対応できる監視体制を維持する。

Q 地域医療の連携の状況は。安城更生病院から医療支援の状況は。

A 令和7年度の紹介件数は8,476件、逆紹介件数は8,431件で、地域医療機関との機能分化と連携が進んでいる。院長や各診療科部長医師が開業医を訪問し、地域ニーズの把握と信頼関係づくりに努めている。安城更生病院とは診療支援協定に基づき、7年度は脳神経外科等5診療科で8人の医師派遣を受け、8年度も継続して支援を受けている。



文教交流分科会

Q 不登校児童生徒の状況は。

A 令和7年度は小学校183人、中学校383人の計566人で、前年度比14人減。学校外の支援機関等につながる割合は約34%で、進路相談会などの支援を行っている。

Q 児童クラブ運営業務を民間委託しているが、どのような成果があったか。

A 企業連携イベントや仕事体験、支援員研修などを実施し、保育内容の充実と支援員の質向上を図っている。



Q 観光事業の成果は。

A 令和7年度の入込客数は417万4千人、宿泊者数は18万7千人。首都圏で実施した調査では、市の認知度は62.7%となった。

経済建設分科会

Q 農業振興費の補助金が昨年に比べ7,300万円ほど増加しているがその詳細は。

A JA西三河が3カ所で計画している、市内に点在する池田・小牧・吉田・高河原の4カ所の青果集出荷場を1カ所に集約する野菜果樹総合集出荷場の建設に向けた「新基本計画実装・農業構造転換支援事業補助金」による増額である。



Q 名鉄西尾・蒲郡線利用促進事業委託料についての活動実績の詳細は。

A 主な取組として、市内の園児を対象に電車や沿線の風景を描いた作品を募集し、車内に掲出することで利用機会の創出やマイレール意識の醸成を図る「にしがま線絵画コンクール」を開催した。また、地域の魅力再発見や鉄道の利便性を体感してもらう「にしがまシーサイドウォーク」等のイベントを実施している。さらに、記念グッズの配布等PR活動に努めている。

審議結果

01 / 9月定例会で審議され可決された議案等

★西尾市教育委員会委員に佐々木真哉氏を任命することに同意しました。

条例など	西尾市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市母子家庭等医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
	西尾市児童クラブ保育料の条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市精神障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
	工事請負契約について
	工事請負契約の変更について
	財産の取得について（備蓄食料、保存水及び防災資材）
	財産の取得について（吉良中学校 図書室用書架及び職員室用収納庫等）
	財産の取得について（生涯学習センター用什器備品）
	財産の処分について
	和解について
	令和７年度西尾市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
	令和７年度西尾市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
補正予算	令和８年度西尾市一般会計補正予算（第３号）
	令和８年度西尾市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）
	令和８年度西尾市介護保険特別会計補正予算（第２号）
	令和８年度西尾市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）
	令和８年度西尾市佐久島診療所事業特別会計補正予算（第１号）
	令和８年度西尾市病事業会計補正予算（第２号）
決　　算	令和７年度西尾市一般会計歳入歳出決算の認定について
	令和７年度西尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和７年度西尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和７年度西尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和７年度西尾市佐久島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和７年度西尾市病院事業会計決算の認定について
	令和７年度西尾市水道事業会計決算の認定について
	令和７年度西尾市下水道事業会計決算の認定について
	令和７年度西尾市渡船事業会計決算の認定について

可決

02 / 9月定例会に提出された陳情書

陳情書	「新たな『定数改善計画』」の確実な実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書	採　　択

審議結果

03 / 議員の賛否の分かれた議案等

9月定例会へ提出された議案のうち、賛否が分かれたものについて掲載します。

議案名	議決結果	会派・議員名、表決態度																																		
		みらい創政会									新しい風								減税日本と無所属グループ			独立グループ志			公明党		共産党	いのち	参政党	無所属	
		松井晋一郎	本郷照代	青山繁	磯部雅弘	藤井基夫	中村なおゆき	山本道代	藤田秀徳	大須賀竜也	松崎隆治	中根志信	中根文彦	小林孝幸	福西あきひと	牧一心	牧博之	渡辺まさし	ささきえみ	石川まゆみ	くろの拓海	中村眞一	杉浦こうき	細井まゆみ	大塚久美子	山本栄児	前田修	山市志保	神田たかひろ	筒井登	岩下一隆
西尾市教育委員会委員の任命の同意について	可決	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西尾市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
西尾市母子家庭等医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
西尾市児童クラブ保育料の条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	⬭	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
西尾市精神障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
工事請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○
令和７年度西尾市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和７年度西尾市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和７年度西尾市一般会計歳入歳出決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○
令和７年度西尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和７年度西尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和７年度西尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和７年度西尾市水道事業会計決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和７年度西尾市下水道事業会計決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○

「○」…賛成（採択）　「×」…反対（不採択）　「※」…議長のため採決に加わりません。

編集室 No.164

9月定例会の主役は、前年度(令和7年度) の決算審査です。「この事業、効果はあった?」「ムダはなかった?」と、議員と市が質疑と答弁を重ねながら、税金の使い方などをチェックします。その結果を次年度(令和9年度) 予算に生かしていく。決算は、未来の市政を考える大切な材料です。

市議会だよりでは、一般質問や議案への表決態度など、議員の考えや活動をお伝えしています。少し小難しい言葉が並ぶのは、議会の議論を正確にお届けするため。とはいえ、読んでいて眠くならないよう、編集室も奮闘中です(笑)。本紙をキッカケに市政を身近に感じ、みなさんが選んだ議員の仕事ぶりを知る一助となれば嬉しいです。

広報委員

◎中村なおゆき　○杉浦 こうき
山市　志保　　藤田　秀徳
渡辺 まさし　　神田たかひろ
石川 まゆみ　　山本　栄児
牧　　博之　　前田　修
（◎委員長　○副委員長）

西尾市議会 広報委員会

電　話　65 - 2182
ＦＡＸ　54 - 0311

※一般質問の記事は、質問議員から提出された原稿をもとに作成しています。

にしお市議会だより
令和8年11月号
No.164
［編集・発行］西尾市議会
〒445-8501 愛知県西尾市寄住町下田22 0563-65-2182(直通)

お知らせ

次回12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/22	23 勤労感謝の日	24	25 議会運営委員会	26	27	28
29	30 本会議 予算決算委員会	12/1 本会議	2 本会議	3 本会議（予備日）	4	5
6	7	8 企画総務委員会・分科会	9 厚生環境委員会・分科会	10 文教交流委員会・分科会	11 経済建設委員会・分科会	12
13	14	15 予算決算委員会	16 議会運営委員会	17	18	19
20	21 本会議	22	23	24	25	26

会議は通常 10 時開会です。
※予定は変更になる場合があります。

議会を聴く

西尾市議会は、『開かれた議会』を目指し、議会を公開しています。傍聴をご希望の方は、議会開催日に議会事務局（6階）までお越しください。

・議場での傍聴……本会議
・委員会室での傍聴…常任委員会、議会運営委員会、全員協議会、部会

表紙の写真

タイトル：11月22日は「三河一色うなぎの日」
写真の説明：三河一色うなぎの新ブランド「艶鰻（えんまん）」にちなんだ記念日です。うなぎをみんなで食べて円満に。西尾自慢のうなぎを味わってみてはいかがでしょうか。

表紙に掲載する写真を募集します

「にしお市議会だより」は市民の皆さまにより身近に感じていただくため、表紙に掲載する写真を募集します。テーマは「あなたが好きな西尾のこんなところ」です。撮影された方のお名前・作品タイトルなどを裏表紙で紹介させていただきます。応募にかかる詳細については、議会事務局（TEL65-2182）にお問い合わせください。

議場見学をしませんか？

町内会などの行事、ご家族、ご友人同士でお誘いあわせの上、お気軽にお越しください。詳しくは、議会事務局（TEL65-2182）へお問い合わせください。



議会を見る

放送チャンネル
ケーブルテレビ「キャッチネットワーク」
地上デジタル　112ch

日時

12月　4日（金）（12月1日一般質問）
12月　9日（水）（12月2日一般質問）
12月23日（水）（12月3日予備日）

※いずれも10時からです。

※放送日時は変更になる場合があります。

インターネットで議会を見てみよう！

市ホームページまたは
右のコードで閲覧できます。

音訳版・点字版のにしお市議会だより

目が不自由な方などのために、音訳版・点字版のにしお市議会だよりを作成し、お渡ししています。希望者は市社会福祉協議会へお問い合わせください。音訳版は市ホームページで公開しています。

申市社会福祉協議会（☎56・5900／総合福祉センター内）
問福祉課（☎65・2113）